

施策評価調書(1)

評価対象年度 令和元年度

めざす姿	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”
施策名	3 市民が自己実現をめざせる環境づくり
施策関係課	(市民生活部)自治振興課／(経済部)グリーンセンター／(教育総務部)生涯学習課・文化推進室・中央図書館・科学館・スポーツ課

●施策の基本方針(目標)

自己実現をめざす市民の多様な学習・活動意欲の高まりに対応するため、さまざまな支援を行い、一人ひとりの個性や魅力を伸ばす環境をつくります。

●目標指標

指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査)			単位	%	指標の種別	成果
	目標値	現状値を上回る(令和2年度)		現状値	32.7(平成27年度)		達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値	32.7	34.6	29.3	32.2			
	名称	生涯学習施設*の利用者数 (*公民館等、図書館、科学館、スポーツ施設)			単位	人	指標の種別	結果
指標②	目標値	6,953,000(令和2年度)		現状値	6,492,941(平成26年度)		達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値	6,888,325	6,694,045	6,685,118	6,226,969			
	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
指標③	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値							
	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
指標④	実績値							
	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値							
指標⑤	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値							

*「達成状況」: 目標年度に判定します。(目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」)

事業額	(単位:千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算額	平成30年度決算額	令和元年度決算額	令和2年度予算額
	事業費	1,997,742	2,967,417	3,432,480	3,086,261	2,373,080
	概算人件費	632,446	786,452	806,625	799,108	790,852
	総事業費	2,630,188	3,753,869	4,239,105	3,885,369	3,163,932

*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 54	単位施策② 53	単位施策③ 53	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			53.3	

施策評価調書(2)

評価対象年度 令和元年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和 元年度 の 総評価	令和 2年度 の実施 方向性
			事業費 (決算額)	事業費 (決算額)	事業費 (決算額)	事業費 (決算額)	事業費 (予算額)		
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
① 生涯学習活動の支援									
23100153	新郷南公民館耐震改修事業 (平成30年度をもって完了)	教育総務部 生涯学習課	4,662 0	24,107 2,652	112,274 2,686	— —	— —	—	—
23100301	社会教育活動運営事業	教育総務部 生涯学習課	2,066 410	2,022 390	2,098 395	1,993 395	2,344 395	56	現状維持 で実施
23100401	施設予約システム事業 (令和元年度休止)	教育総務部 生涯学習課	7,395 4,100	— —	— —	— —	— —	—	—
23100501	市民大学事業	教育総務部 生涯学習課	2,342 4,920	1,772 4,680	3,835 4,740	3,556 4,740	4,478 6,320	56	現状維持 で実施
23100601	人材バンク事業	教育総務部 生涯学習課	5 1,230	20 1,170	0 1,896	0 1,896	0 1,896	50	拡充して 実施
23100701	子ども大学かわぐち実行 委員会交付事業	教育総務部 生涯学習課	437 2,706	367 2,574	421 2,607	400 2,607	437 2,607	56	現状維持 で実施
23100801	社会教育団体育成事業	教育総務部 生涯学習課	36 820	45 780	24 790	20 790	0 790	50	現状維持 で実施
23100901	社会教育団体補助事業	教育総務部 生涯学習課	1,195 164	1,195 156	1,145 158	1,145 158	1,145 158	46	現状維持 で実施
23101001	公民館施設運営費	教育総務部 生涯学習課	163,417 5,084	171,486 257,400	99,301 260,700	89,513 260,700	112,420 260,700	52	現状維持 で実施
23101101	中央ふれあい館 施設運営費	教育総務部 生涯学習課	913 23,800	731 29,190	8,853 31,410	8,659 31,385	11,250 31,385	50	現状維持 で実施
23101201	生涯学習プラザ 施設運営費	教育総務部 生涯学習課	575 21,400	464 26,700	2,483 31,100	3,059 19,500	3,493 19,500	56	現状維持 で実施
23101301	青少年会館施設運営費 (平成28年度をもって完了)	教育総務部 生涯学習課	215 21,400	— —	— —	— —	— —	—	—
23101401	文化会館施設運営費	教育総務部 生涯学習課	770 24,700	641 26,300	777 26,400	1,392 26,400	10,645 31,100	54	拡充して 実施
23101501	図書館施設運営費	教育総務部 中央図書館	410,613 287,000	408,576 273,000	431,851 276,500	488,417 276,500	513,948 276,500	58	現状維持 で実施
23101601	社会教育施設指定管理者 管理運営費 (平成30年度をもって完了)	教育総務部 中央図書館	68,915 820	68,915 780	68,915 790	— —	— —	—	—
23101701	科学展示施設運営費	教育総務部 科学館	41,742 24,764	41,119 22,152	41,443 20,856	41,575 18,565	42,396 18,170	52	現状維持 で実施
23101801	天文台施設運営費	教育総務部 科学館	721 11,972	804 11,154	732 11,613	808 12,561	680 12,561	58	現状維持 で実施
23101901	プラネタリウム 施設運営費	教育総務部 科学館	14,365 14,268	14,573 13,182	16,821 13,035	17,287 13,272	17,281 13,272	56	現状維持 で実施
23102001	特別企画事業費	教育総務部 科学館	11,738 8,118	9,047 7,878	9,285 7,426	6,983 7,110	7,640 6,794	58	現状維持 で実施
23102101	映像・情報メディアセンター 指定管理者管理運営費	教育総務部 中央図書館	— —	— —	— —	48,848 2,607	49,297 2,607	54	現状維持 で実施

単位施策名		② スポーツ・レクリエーション活動の支援							
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (決算額)	令和2年度 事業費 (予算額)	令和 元年度 の 総評価	令和 2年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
23200101	体育施設耐震診断事業 (平成29年度をもって完了)	教育総務部 スポーツ課	— —	8,964 468	— —	— —	— —	—	—
23200114	新郷スポーツセンター耐震改修 事業(平成30年度をもって完了)	教育総務部 スポーツ課	18,105 574	166,646 546	795,199 553	— —	— —	—	—
23200122	オリンピック・パラリンピック 事前キャンプ地誘致等事業	教育総務部 スポーツ課	— —	860 7,254	846 6,399	920 6,241	— —	58	完了
23200132	オリンピック・パラリンピッ ク普及啓発事業	教育総務部 スポーツ課	— —	— —	1,868 1,027	19,954 1,501	2,970 237	56	縮小して 実施
23200142	オリンピック・パラリンピック強 化指定選手激励金交付事業	教育総務部 スポーツ課	— —	1,456 546	1,712 553	1,500 632	2,500 632	50	現状維持 で実施
23200152	体育施設維持補修費	教育総務部 スポーツ課	76,777 1,886	61,754 1,794	72,171 1,580	78,854 2,212	46,124 2,765	58	現状維持 で実施
23200164	体育施設整備費	教育総務部 スポーツ課	— —	206,662 624	334,874 1,185	365,662 2,765	329,907 2,765	58	現状維持 で実施
23200182	青木町公園総合運動場陸上 競技場耐震改修事業 (平成30年度をもって完了)	教育総務部 スポーツ課	— —	36,383 546	295,362 553	— —	— —	—	—
23200201	青木町公園総合運動場 庭球場人工芝改修事業 (平成28年度をもって完了)	教育総務部 スポーツ課	63,990 1,230	— —	— —	— —	— —	—	—
23200224	芝スポーツセンター 耐震改修事業	教育総務部 スポーツ課	— —	13,738 546	— —	749,773 1,185	— —	58	完了
23200244	東スポーツセンター 設備改修事業	教育総務部 スポーツ課	— —	128,277 468	50,910 474	100,715 711	191,796 790	58	現状維持 で実施
23200264	西スポーツセンター 設備改修事業	教育総務部 スポーツ課	— —	149,348 468	61,260 474	46,580 790	— —	58	完了
23200281	青木町公園総合運動場 プール設備改修事業 (平成29年度をもって完了)	教育総務部 スポーツ課	— —	236,263 468	— —	— —	— —	—	—
23200301	流水プール施設運営費	経済部 グリーンセンター	39,609 6,304	39,954 7,488	40,042 7,584	52,924 7,584	54,710 7,584	38	現状維持 で実施
23200401	スポーツ推進審議会 事業	教育総務部 スポーツ課	193 2,050	186 1,950	172 1,975	150 1,975	179 1,185	50	現状維持 で実施
23200501	中学校・高等学校運動 指導者派遣事業	教育総務部 スポーツ課	1,577 8,200	1,720 1,170	1,787 1,185	1,500 632	2,095 632	50	現状維持 で実施
23200601	各種体育大会開催事業	教育総務部 スポーツ課	236 8,200	238 2,886	222 2,528	346 2,765	473 2,923	50	現状維持 で実施
23200701	体育関係表彰事業	教育総務部 スポーツ課	675 8,200	679 5,850	742 5,925	413 2,765	552 2,765	48	現状維持 で実施
23200801	ツーデーマーチ 実行委員会交付金	教育総務部 スポーツ課	1,700 8,200	1,700 3,120	2,700 3,160	1,700 4,345	1,978 4,345	50	現状維持 で実施
23200901	学校体育協会事業	教育総務部 スポーツ課	3,193 8,200	2,949 5,382	3,047 5,451	3,079 4,740	3,445 5,293	50	現状維持 で実施
23201001	スポーツ協会事業	教育総務部 スポーツ課	53,843 8,200	53,843 1,950	58,292 1,975	60,044 1,975	61,222 2,370	58	現状維持 で実施
23201101	スポーツ推進委員 協議会事業	教育総務部 スポーツ課	12,389 8,200	12,457 5,616	12,460 5,609	12,789 5,530	12,855 5,135	58	現状維持 で実施
23201201	レクリエーション協会 事業	教育総務部 スポーツ課	3,878 8,200	3,878 3,666	3,845 3,634	4,878 4,740	3,878 4,898	50	現状維持 で実施

単位施策名		② スポーツ・レクリエーション活動の支援							
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (決算額)	令和2年度 事業費 (予算額)	令和 元年度 の 総評価	令和 2年度 の 実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
23201301	スポーツ少年団事業	教育総務部 スポーツ課	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	46	現状維持 で実施
			8,200	3,198	3,081	5,135	5,135		
23201401	スポーツ推進補助事業	教育総務部 スポーツ課	15,602	15,606	15,408	15,754	15,927	48	現状維持 で実施
			8,200	1,404	1,422	1,580	1,185		
23201501	青木町公園総合運動場・体育武道センター指定管理者管理運営費	教育総務部 スポーツ課	154,286	154,947	155,408	156,839	159,699	56	現状維持 で実施
			2,050	1,794	1,817	1,896	2,054		
23201601	戸塚スポーツセンター指定管理者管理運営費	教育総務部 スポーツ課	134,796	134,986	135,669	137,150	139,574	58	現状維持 で実施
			2,050	1,794	1,817	1,896	2,054		
23201701	施設予約システム事業 (平成28年度をもって完了)	教育総務部 スポーツ課	13,662	—	—	—	—	—	—
			2,050	—	—	—	—		
23201802	青木町公園総合運動場陸上競技場第3種公認取得事業 (平成30年度をもって完了)	教育総務部 スポーツ課	131,477	256,632	4,854	—	—	—	—
			1,230	390	395	—	—		
23201901	スポーツ教室 開催事業費	教育総務部 スポーツ課	1,158	903	924	1,068	1,303	54	現状維持 で実施
			19,800	546	553	553	711		

単位施策名		③ 文化芸術活動の支援							
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (決算額)	令和2年度 事業費 (予算額)	令和 元年度 の 総評価	令和 2年度 の 実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
23300102	文化芸術鑑賞事業	教育総務部 文化推進室	745	193	245	290	332	56	現状維持 で実施
			1,394	1,326	1,185	2,291	1,659		
23300202	アートギャラリー 企画関係費	教育総務部 文化推進室	19,947	14,810	15,647	13,181	10,415	54	現状維持 で実施
			13,120	12,480	12,640	12,640	12,640		
23300212	伊奈半十郎忠治像建立事業 (平成30年度をもって完了)	教育総務部 文化推進室	1,588	6,140	1,442	—	—	—	—
			902	858	948	—	—		
23300301	総合文化センター 指定管理者管理運営費	市民生活部 自治振興課	484,014	476,370	503,500	502,612	507,224	58	現状維持 で実施
			1,476	1,170	1,343	1,343	1,817		
23300502	市民コンサート事業	教育総務部 文化推進室	463	798	503	1,266	1,036	52	現状維持 で実施
			2,214	2,106	1,659	2,528	2,291		
23300601	芸術賞賞賜事業	教育総務部 文化推進室	870	714	740	923	1,172	52	現状維持 で実施
			1,804	1,716	1,580	2,844	2,291		
23300702	文化振興交付事業	教育総務部 文化推進室	15,452	14,828	13,240	12,136	12,744	52	現状維持 で実施
			15,580	8,502	6,636	10,349	9,796		
23300712	歴史自然資料館活用 事業	教育総務部 文化推進室	—	—	159	1,067	1,125	50	現状維持 で実施
			—	—	1,975	2,449	1,659		
23300722	美術館建設基本構想策定事業 (平成30年度をもって完了)	教育総務部 文化推進室	—	—	9,851	—	—	—	—
			—	—	2,844	—	—		
23300801	旧芝園中学校アトリエ利用事業 (平成30年度をもって完了)	教育総務部 文化推進室	250	300	324	—	—	—	—
			1,230	1,170	948	—	—		
23300811	特別展覧会事業 (平成30年度をもって完了)	教育総務部 文化推進室	—	—	8,594	—	—	—	—
			—	—	2,844	—	—		
23300901	文化団体補助事業	教育総務部 文化推進室	1,554	1,650	1,650	1,984	2,300	50	現状維持 で実施
			1,066	1,014	948	1,817	1,422		

単位施策名 ③ 文化芸術活動の支援									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (決算額)	令和2年度 事業費 (予算額)	令和 元年度 の 総評価	令和 2年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
23301001	アートギャラリー事業 運営費	教育総務部 文化推進室	12,391	13,501	15,502	15,760	12,285	54	現状維持 で実施
			14,760	14,040	14,220	14,220	14,220		
23301101	若手芸術家派遣事業	教育総務部 文化推進室	—	—	—	327	—	52	完了
			—	—	—	1,738	—		
23301202	美術館建設等検討事業	教育総務部 文化推進室	—	—	9,851	9,268	14,606	52	現状維持 で実施
			—	—	2,844	3,555	2,844		

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23100301	事業名称	社会教育活動運営事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	生涯学習課	問い合わせ先	259-7655	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市非常勤の特別職職員報酬及び費用弁償に関する条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	社会教育関係委員 公民館運営審議会・生涯学習プラザ運営審議会・中央ふれあい館運営審議会	社会教育施設利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	社会教育の諸事業について、審議し、委員をとおして市民の意見を広く反映させるため。	社会教育関係委員会議を開催し、事業内容等を審議する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	社会教育委員会議・公民館運営審議会・生涯学習プラザ運営審議会・中央ふれあい館運営審議会を開催した。(新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、公民館運営審議会は1施設中止)	項目	実績 単位
		社会教育委員会議	1 回
事業の成果【定性的評価】	社会教育の諸事業・施設運営について審議し、委員をとおして市民の意見を広く反映させることができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	会議及び審議会の実施回数			指標・目標値の説明(算定式)	社会教育委員会議及び公民館等運営審議会の開催回数				
	単位	回	指標の種別	活動						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況	36	36	35	未達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	002細目	01細々目	社会教育活動運営事業			
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	2,758	2,466	2,357	2,344	2,344					
決算額(B)=(C)+(D)	2,022	2,098	1,993							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	2,022	2,098	1,993	2,344					
概算人件費(E)	390	395	395	395	395					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,412	2,493	2,388	2,739	2,739					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	特になし	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23100501	事業名称	市民大学事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	生涯学習課	問い合わせ先	048-259-7655	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 19 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市民大学設置要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市内在住・在勤・在学の18歳以上の方	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	生涯学習社会が進展する中で、市民の高度で多様な学習要求に応える。市民が「生きがいつくり」「自己実現」を達成し、より豊かで充実した人生を送ることに貢献する。	市内外の高等教育機関や公民館などの社会教育施設と協力し、文学・歴史・自然科学等の一般教養や専門的知識を学ぶ講義のほか、現代的課題等をとりあげる講座を開催する。		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	大学講師、川口市人材バンク魅学、地域で活動しているサークル、川口市役所内の各課・所等に協力をいただき、歴史、英会話、情報機器、公共施設見学など広い分野の講座を行った。	項目	実績	単位
		川口市民大学講座実施回数	156	回
事業の成果 【定性的評価】	市民の学習意欲に応えることを目的として、歴史、英会話、情報機器、公共施設見学など多岐にわたる38講座、156回を実施した。12月に行った公開講座では、第65代横綱貴乃花光司氏を講師として招き、532人が受講した。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口市民大学講座数			指標・目標値の説明(算定式)	公民館等において1講座4回、35講座以上開催。				
	単位	回	指標の種別	活動						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況	155	達成	152	達成	156	達成			
指標②	名称	受講生の満足度			指標・目標値の説明(算定式)	受講生アンケートにおいて、「とても満足」「満足」と回答した割合の平均値。				
	単位	%	指標の種別	成果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況	87.90	達成	88.90	達成	96.10	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	004細目	01細々目	市民大学事業			
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	2,763	4,245	4,282	4,478	4,478					
決算額(B)=(C)+(D)	1,772	3,835	3,556							
財源※	特定財源(C)	189	253	266	300					
	一般財源(D)	1,583	3,582	3,290	4,178					
概算人件費(E)	4,680	4,740	4,740	6,320	6,320					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.60	0.00	0.60	0.00	0.80	0.00	0.80	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	6,452	8,575	8,296	10,798	10,798					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	受講者の平均年齢は70代前後であるため、講座開催日時や講座内容の工夫を行い、若者の参加も促せるよう企画を行っている。また、特に人気のある講座は一部の公民館での開催に偏らないよう調整し、市民の需要に合った講座となるよう工夫していく。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23100601	事業名称	人材バンク事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	生涯学習課	問い合わせ先	258-1110(18120)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 12 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	社会教育法、川口市人材バンク「魅学」設置要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内在住、在勤または市内で活動している16歳以上の個人または団体	市内在住・在勤・在学の方、市内で活動している団体、市内の教育関連施設等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	豊富な知識や経験を持つ個人及び団体の情報を「人材バンク」に登録し、指導者やボランティアとして紹介することで、市民の生涯学習活動や学校における教育活動を支援し、お互いの生きがいづくり、人づくりにつなげていくことを目的とする。	生涯学習に関する資格・技術や経験を有し、市民の生涯学習活動の支援に意欲を持った市民を人材バンクに登録し、自らの自己実現のため生涯学習活動に対し指導者として紹介する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・令和年度は165人の登録者のうち、49件の活用があった。 ・小・中学校においては、地域ふれあい授業や放課後子供教室、PTAにおいて活用があった。社会教育施設等においても、家庭教育講座、健康体操で登録のある講師が活用された。	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	豊富な知識や経験を有し、市民の生涯学習活動の支援に意欲のある登録者や団体を、自らの自己実現のために生涯学習活動への参加を希望する個人や団体に紹介することにより、双方の自己充足を図る機会を提供することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	人材バンク魅学依頼件数			指標・目標値の説明(算定式)	過去3年間の依頼件数の平均値					
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	実績値・達成状況	45		45		50		46		55	
		54	達成	61	達成	49	未達成				
指標②	名称	人材バンク魅学登録者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去3年間の登録者数の平均値					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	実績値・達成状況	210		210		190		183		180	
		227	達成	159	未達成	165	未達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	004細目	02細々目	人材バンク事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	24	24		5		0		0		
決算額(B)=(C)+(D)	20	0		0		0		0		
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	20		0		0		0		
概算人件費(E)	1,170		1,896		1,896		1,896		1,896	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.15	0.00	0.24	0.00	0.24	0.00	0.24	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,190		1,896		1,896		1,896		1,896	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どりの成果	期待以下	11 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	ボランティア・指導者登録の個人・団体の登録件数に対し、学習者の依頼が少ないことが課題である。改善方策としては、冊子やホームページ等に利用例や利用者の感想をより多く掲載し、積極的な啓発となるように努めていく。	2年度	拡充して実施
		3年度	拡充して実施
		4年度	拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23100701	事業名称	子ども大学かわぐち実行委員会交付事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	生涯学習課	問い合わせ先	258-1110(18120)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 24 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	子ども大学かわぐち実行委員会設置要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民(市内小学校4~6年生児童)	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	子どもの学ぶ力や生きる力を育むとともに、地域で地域の子どもの育てる仕組みを創るために、知的好奇心を刺激する学びの機会を提供する。	「はてな学」「ふるさと学」「生き方学」の3つのテーマに沿って、大学教員や様々な分野のプロフェッショナルが、子どもの疑問に優しく答える講義や体験を提供する。		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	○NPOによるブレイクダンス講座 ○漢字検定1級取得者による漢字講座 ○自動車会社の技術者による科学実権 ○銀行員と法人会による税金・銀行の役割学習	項目	実績	単位
		申込者数	51	人
事業の成果 【定性的評価】	参加児童アンケートによると「日常でどう役立たせるか考えることができた」「がんばればおどろくほど成長していくことに気づいた」など、知的好奇心を満足させる学びであったことがわかった。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	申込者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去3年間の参加申込数の平均値					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
	実績値・達成状況	208	達成	51	未達成	119	達成				
指標②	名称	受講者アンケート(とても満足した)			指標・目標値の説明(算定式)	過去3年間受講者アンケートの平均値					
	単位	%	指標の種別	成果							
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
	実績値・達成状況	83.61	達成	92.30	達成	87.50	達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	004細目	04細々目	子ども大学かわぐち実行委員会交付事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	437	426		437		437	437			
決算額(B)=(C)+(D)	367	421		400						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	367	421		400		437			
概算人件費(E)	2,574		2,607		2,607		2,607		4,740	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.33	0.00	0.33	0.00	0.33	0.00	0.60	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,941		3,028		3,007		3,044		5,177	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	申込数が多く、満足度も高かった。参加者にはリピーターもいるため、講座の内容や会場などに創意工夫が必要である。実行委員のもつ教育力やネットワークを生かすことで、より充実した事業となるようにする。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23100801	事業名称	社会教育団体育成事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	生涯学習課	問い合わせ先	048-259-7655	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市公民館等社会教育関係団体育成事業に係わる事業費交付要項

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	社会教育施設利用者および社会教育関係団体等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	健全な施設運営および社会教育事業の推進を図るため、社会教育関係団体のリーダーとしての資質の向上や、社会教育施設で活動する団体の学習活動の支援促進に寄与する。	健全な施設運営および社会教育事業の推進を図ることを念頭に、社会教育関係団体のリーダーとして必要な知識もしくは社会教育施設の利用に関する研修会等の実施や、社会教育施設で活動する団体の学習活動の支援および促進に結びつく事業を実施する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・公民館の利用の仕方について ・社会教育の目的・社会教育団体への役割等 ・多文化共生について ・サークルが児童対象の読み聞かせ	項目	実績
		クラブリーダー研修	34 件
		共催事業	2 件
事業の成果 【定性的評価】	公民館の利用者に対し、公民館の適正利用について周知できた。また、社会教育についても理解を深めることができた。各館で内容も異なるのだが、今年度は現代的課題でもある「多文化共生」について理解を深める研修を実施した館もあった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	事業実施数			指標・目標値の説明(算定式)	市内の公民館等の全施設において企画・実施を目指す。(中央ふれあい館及び婦人会館を含む35館)				
	単位	事業数	指標の種別	活動						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況	35	35	35	35	35				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別								
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	005細目	01細々目	社会教育団体育成事業			
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	72	72	72	0	0					
決算額(B)=(C)+(D)	45	24	20							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	45	24	20	0					
概算人件費(E)	780	790	790	790	790					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	825	814	810	790	790					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	・各館によって、内容が異なるため、地域に応じた課題等について研修する必要がある。 ・全館実施ができていない状況なので、全館実施を目指す。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23100901	事業名称	社会教育団体補助事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	生涯学習課	問い合わせ先	259-7655	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 50 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、各種補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	川口市PTA連合会 川口市婦人団体連絡協議会	川口市で教育を受ける子供 婦人団体活動に関わる市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	各団体の運営事業費の一部を助成し、団体活動の充実・進展を図るため。	補助金の交付		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	各団体の運営費のうち、会議費・研修費等、事業にかかる経費の一部を助成した。	項目	実績	単位
事業の成果 【定性的評価】	講演会及び研修費等の主催事業等、各団体の活動内容が充実し、それぞれの活動目的の進展に寄与した。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	01目	005細目	02細々目	社会教育団体補助事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	1,195	1,145		1,145		1,145	1,145			
決算額(B)=(C)+(D)	1,195	1,145		1,145						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	1,195	1,145		1,145		1,145	1,145		
概算人件費(E)	156	158		158		158	158			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.02	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,351	1,303		1,303		1,303	1,303			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
46 /60	特になし。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23101001	事業名称	公民館施設運営費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	生涯学習課	問い合わせ先	259-7654	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	社会教育法、川口市立公民館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公民館	公民館利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	住民への学習機会の提供と多くの人々の新たな交流の場の提供を目的としている。	社会の要請や個人の要望に応えることができるよう、現代的課題を中心とした多種多様な講座の実施や、生涯各期にあわせた事業を展開している。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・多種多様な講座を実施した。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	市民の一般的教養が向上し、公民館活動を通じて地域の活性化に繋がった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	年間教室件数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績の積み上げから設定したもの。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況	860	達成	818	未達成	1,195	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	02目	001細目	01細々目	公民館施設運営費			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	171,458	103,516		98,261		112,420		112,420		
決算額(B)=(C)+(D)	171,486	99,301		89,513						
財源※	特定財源(C)	35,735	36,698		36,434		38,930			
	一般財源(D)	135,751	62,603		53,079		73,490			
概算人件費(E)	257,400	260,700		260,700		260,700		260,700		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	33.00	0.00	33.00	0.00	33.00	0.00	33.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	428,886	360,001		350,213		373,120		373,120		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	幅広い年齢層の方々が利用しており、市民の多様な学習ニーズはますます高度化しているため、事業内容の充実が求められている。このことから、事業の企画は十分に市民ニーズを把握した上で、魅力ある内容の事業を実施するよう努める。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23101101	事業名称	中央ふれあい館施設運営費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	生涯学習課	問い合わせ先	222-2798	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立中央ふれあい館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	中央ふれあい館利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	市民の自発的学習を奨励助長し、知識の習得及び技術の向上を目指す。特に高齢者については交流の場作りとする。	学習内容にふさわしい施設の提供及び市民のニーズに応じた講座の開設	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	子どもや高齢者向けの年齢層に応じた講座のほか、趣味・実技の習得を目的とした講座を実施した。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	川口駅に近いという利便性があるため、講座への参加者や施設利用者が多く、市民の生涯学習活動の支援に寄与することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	利用者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績に基づき算定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況	254,989	達成	271,566	達成	170,169	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	03目	001細目	01細々目	中央ふれあい館施設運営費					
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度							
予算額(A)	1,004	10,498	9,529	11,250	11,250							
決算額(B)=(C)+(D)	731	8,853	8,659									
財源※	特定財源(C)	731	8,853	8,659	11,250							
	一般財源(D)	0	0	0	0							
概算人件費(E)	29,190	31,410	31,385	31,385	31,385							
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.75	4.20	3.25	1.55	3.20	1.65	3.20	1.65	3.20	1.65
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	29,921	40,263	40,044	42,635	42,635							

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	今後も利用率が低下しないよう施設の良好な維持・管理に努め、地域の多様化しているニーズを速やかに把握し、講座内容に反映できるよう検討することが肝要である。指標の実績値については、令和元年度より利用者数のカウント方法の変更及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業・貸館を中止したため昨年度と比べ減少した。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23101201	事業名称	生涯学習プラザ施設運営費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	生涯学習課	問い合わせ先	253-1444	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 45 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立生涯学習プラザ設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	生涯学習プラザ利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	市民へ生涯にわたる学習の機会を提供し、市民相互の学び合い及び交流を促進することにより、生涯学習活動の振興を図るとともに、福祉の増進に寄与することを目的とする。	現代的・社会的課題への対応として、環境教育・消費者教育及び高齢者教育等の事業の実施の他に、子育て支援や趣味・教養の事業の充実を図る。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	消費生活講座 キャッシュレス社会に向けて 平安・鎌倉時代の仏教史入門 赤ちゃんと一緒にふれあいセミナー 子育て支援講座 ゆかた着付け教室	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	現代的課題や子育て支援等の講座を行い、市民へ学習の機会を提供し、生涯学習活動の支援に寄与することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	利用者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績に基づき算定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況	34,404	達成	30,609	達成	54,454	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	04目	001細目	01細々目	生涯学習プラザ施設運営費				
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度						
予算額(A)	465	2,699	3,401	3,493	3,493						
決算額(B)=(C)+(D)	464	2,483	3,059								
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0						
	一般財源(D)	464	2,483	3,059	3,493						
概算人件費(E)	26,700	31,100	19,500	19,500	19,500						
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	3.00	3.00	2.00	1.00	2.00	1.00	2.00	1.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	27,164	33,583	22,559	22,993	22,993						

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	社会の要請や、個人の要望に応えるよう、講座参加者のニーズの把握に努めるとともに費用対効果を鑑み、施設の特徴に応じた事業を実施する。 また、令和元年度に開設された施設であり利用率が低下しないように、施設の維持管理に努める。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23101401	事業名称	文化会館施設運営費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	生涯学習課	問い合わせ先	048-222-3612	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 58 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立南平文化会館設置及び管理条例・川口市立南平文化会館管理規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	文化会館利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の芸術文化の向上と福祉の増進を図ることを目的とする。	音楽会、講演会などの主催および共催事業の実施。 ①おかあさんコーラスの集い ②サロンコンサート ③文化講演会	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	音楽会、講演会などの主催および共催事業 ①おかあさんコーラスの集い…5/19 参加者380名 ②サロンコンサート…7/5 参加者133名 ③文化講演会…10/5 参加者235名	項目	実績 単位
		おかあさんコーラスの集い	1 回
事業の成果 【定性的評価】	市民の芸術・文化活動の発展に寄与することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	自主事業参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	自主事業における会場収容人数の上限をもとに設定					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	実績値・達成状況	445 未達成		735 未達成		748 未達成					
指標②	名称	年間利用者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去5年間の平均実績をもとに設定					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	実績値・達成状況	27,483 未達成		45,285 未達成		23,973 未達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	05目	001細目	01細々目	文化会館施設運営費			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	813	784		1,417		10,645		10,645		
決算額(B)=(C)+(D)	641	777		1,392						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	641		777		1,392		10,645		
概算人件費(E)	26,300		26,400		26,400		31,100		31,100	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	5.00	1.00	5.00	1.00	5.00	3.00	2.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	26,941		27,177		27,792		41,745		41,745	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	改修を段階的に実施しているが、床タイルの剥がれなどの老朽化や、古い設計であるために施設のバリアフリー化推進の限界等の課題が残っている。今後とも関係部署との連携を密にし、利用者が快適に使える環境づくりに努めていく。	2年度	拡充して実施
		3年度	拡充して実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23101501	事業名称	図書館施設運営費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	中央図書館	問い合わせ先	258-1110(#69-2986)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立図書館設置及び管理条例、川口市立図書館設置及び管理条例施行規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	全市民(施設利用者)	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	市民の知的自由を支え、知的要求に応えるためのサービスを提供することで、生涯学習を支援することを目的とする。	生涯学習の重要な拠点施設として、質の高いサービスを提供し、生涯学習の充実を支援する。		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	利用者の利便性の向上のため可能な限り開館し、また絵本の読み聞かせやストーリーテリングを通じて、子ども達に本を手渡す機会を作る。さらに、図書館が近くにない地区に住んでいる市民のニーズには移動図書館車の運営により応える。	項目	実績	単位
		開館日数	311	日
		おはなし会開催回数	414	回
事業の成果 【定性的評価】	入館者数1,608,239人、おはなし会参加人数5,449人、移動図書館利用者数3,812人の利用があった。成果として、個人の生活を豊かにすると共に、社会の一員としての能力を高めるという生涯学習の充実にも寄与した。			
		移動図書館巡回回数	246	回

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	入館者数			指標・目標値の 説明(算定式)	指標:中央・前川・新郷・横曽根・戸塚・鳩ヶ谷図書館及び芝園分室の入館者数 目標値:平準的な開館日数である直近年度の実績を参考に決定				
	単位	人	指標の種別	結果		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	1,800,000		1,800,000		1,800,000				
	実績値・達成状況	1,769,106	未達成	1,774,491	未達成	1,608,239	未達成			
指標②	名称	おはなし会参加人数			指標・目標値の 説明(算定式)	指標:おはなし会、夏休みおはなし会、クリスマスおはなし会、わらべうたの会の参加者数 目標値:前年度の実績を参考に決定				
	単位	人	指標の種別	結果		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	6,800		6,800		6,800				
	実績値・達成状況	6,751	未達成	6,785	未達成	5,449	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	06目	002細目	01細々目	図書館施設運営費				
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度				
予算額(A)	413,308	436,503		494,210		513,948	513,948				
決算額(B)=(C)+(D)	408,576	431,851		488,417							
財源※	特定財源(C)	32,086	33,682		34,982		4,829				
	一般財源(D)	376,490	398,169		453,435		509,119				
概算人件費(E)	273,000	276,500		276,500		276,500	276,500				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	35.00	0.00	35.00	0.00	35.00	0.00	35.00	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	681,576		708,351		764,917		790,448	790,448			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	コロナウイルス感染防止のため、3月3日から全館臨時休館とした影響で目標値には達しなかったが、市内学校と連携したPOP展示事業、商業施設における図書館PR事業など新たな取り組みを行った。引き続き、図書館利用者が何度も訪れたくなる企画展示の実施及び普段図書館を利用していない方への利用啓発を図る。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23101701	事業名称	科学展示施設運営費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	科学館	問い合わせ先	262-8431	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	科学展示施設利用者、科学出張教室参加者、チャレンジサイエンス参加者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	参加体験型の展示物を有効に活用するとともに、各種事業を開催することにより、利用者の科学に対する興味関心を高める。	・実験ショー、科学体験教室、科学出張教室などの実施 ・展示解説・受付案内・各種事業補助のインストラクター業務の委託		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	実験ショー「サイエンスショー」身近な素材を使った簡単な科学ものづくり「わくわくワーク」テーマのあるものづくり・実験・観察を行う「どきどきサイエンス」(インストラクターによる委託事業)、「夏休み科学教室」等各種講座及び展示解説を行った。	項目	実績	単位
		サイエンスショー参加者数	4,912	人
どきどきサイエンス参加者数	20,783	人		
事業の成果【定性的評価】	科学現象の原理原則を学ぶ展示装置や、科学の基礎を学習する科学実験ショーや科学ものづくり教室等を展開し大人から子どもまで楽しみながら学べ、また、学校における授業の一環として効果的に活用された。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	科学展示施設入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	科学展示施設入場者数 平成26年度の実績(平成30年度以降は平成29年度の実績)を参考に設定				
	単位	人	指標の種別	結果		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況	76,999 未達成		79,475 達成		89,305 達成				
指標②	名称	館外事業参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	館外事業参加者数 平成26年度の実績(平成30年度以降は平成29年度の実績)を参考に設定				
	単位	人	指標の種別	結果		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況	7,692 達成		9,791 達成		9,371 達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	09目	002細目	01細々目	科学展示施設運営費			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	44,071	41,643		41,631		42,396		42,396		
決算額(B)=(C)+(D)	41,119	41,443		41,575						
財源※	特定財源(C)	7,176		7,296		7,106		6,826		
	一般財源(D)	33,943		34,147		34,469		35,570		
概算人件費(E)	22,152		20,856		18,565		18,170		18,170	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.84	0.00	2.64	0.00	2.35	0.00	2.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	63,271		62,299		60,140		60,566		60,566	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	実験ショーや科学教室、地域学校連携となる館外事業の実施については、内容の充実や実施方法の改善など、他館の事業を参考にして利用者の満足度を高める工夫を続けていく必要がある。また、開館から15年以上が経過し老朽化が進んでいる展示装置更新のため、展示装置改修事業として要望を出し、予算の枠内で更新を図る予定である。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23101801	事業名称	天文台施設運営費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	科学館	問い合わせ先	262-8431	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	科学館利用者、出張事業参加者、ホームページ閲覧者、関係機関	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	本物の天体を、実際に観測・体験することで深い興味と感動を覚え、科学的なものの見方や考え方を身につける。	夜間観測会、天文台ガイドツアー、太陽観測実習、特別観測会、太陽観測出張授業、夜間出張観望会を行うもの。		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	月や惑星などを観測する天文台夜間観測会、太陽観測と天文台施設を案内する天文台ガイドツアーを定例で実施。「木星・土星」、「部分日食」などの特別観測会を定例外で実施した。また、学校等へ出張して行う夜間出張観望会、太陽観測出張授業などを実施した。	項目	実績	単位
		夜間観測会参加者数	410	人
		天文台ガイドツアー参加者数	229	人
太陽観測出張授業参加者数	730	人		
事業の成果【定性的評価】	特に特別観測会が好評であった。観望好機となった夏休みに特別観測会「木星・土星」を実施、広報にも力を入れ市内掲示板、広報かわぐちに掲載をしたところ、2日間の実施で420人の多数の方が参加、機会を捉えた好評な事業となった。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	天文台公開参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	天文台利用者及び出張授業参加者数 定員及び平成26年度の実績(平成30年度以降は平成29年度の実績)を参考に設定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況	2,047		1,268		1,290		1,312		1,334
	実績値	1,247	未達成	1,989	達成	2,154	達成			
指標②	名称	太陽観測出張授業参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	太陽観測出張授業に参加した人数 定員及び平成26年度の実績(平成30年度以降は平成29年度の実績)を参考に設定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況	986		1,276		1,298		1,320		1,342
	実績値	1,255	達成	1,608	達成	730	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	09目	002細目	02細々目	天文台施設運営費			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	809	751		852		680		680		
決算額(B)=(C)+(D)	804	732		808						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	804		732		808		680		680
概算人件費(E)	11,154		11,613		12,561		12,561		12,561	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.43	0.00	1.47	0.00	1.59	0.00	1.59	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	11,958		12,345		13,369		13,241		13,241	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	天文台事業の実施は、天候に左右されることから、安定した公開は難しいが、デジタル機器などで行う疑似体験とは違った本物を見ることが出来るという貴重な機会であり、参加者の関心も高い。今後も特別な天体現象がある場合は、参加者への観測会の広報及び専門性の高い内容の解説が提供できるよう情報収集や調査研究に努める。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23101901	事業名称	プラネタリウム施設運営費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	科学館	問い合わせ先	262-8431	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	プラネタリウム施設利用者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	天候や時間帯に左右されずに、星を観て、星の探し方・動きの規則性・法則などを効果的に学び、天文学の普及、科学全般に対する興味関心を高める。	一般投影、キッズアワー、学習投影、宇宙の教室、星空リラクゼーション、星空と朗読、天文講演会等を開催。また、番組制作や機器の保守等の特殊な作業の委託を行うもの。		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	小学生から大人まで対象の一般投影、子供向けのキッズアワーを定例で実施。主に市内小学校4年生の理科の授業として学習投影、幼稚園、保育所向けの幼児投影などを実施した。音楽を多用した星空リラクゼーションなどの特別投影、研究者を招き講演会を実施した。	項目	実績	単位
		一般投影観覧者数	17,933	人
キッズアワー観覧者数	4,662	人		
学習投影観覧者数	8,601	人		
事業の成果【定性的評価】	いつでも星空が見られるという機器の特色を生かし、様々な天文の話題を提供する投影を実施している。特別投影も実施しており、専門職員によるタイムリーな天文の話題などを随時取り入れた解説を実施しており、来館者の満足度も高い。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	プラネタリウム観覧者数			指標・目標値の説明(算定式)	プラネタリウム観覧者数 平成26年度の実績(平成30年度以降は平成29年度の実績)を参考に設定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況	35,975	未達成	36,262	未達成	35,846	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	09目	002細目	03細々目	プラネタリウム施設運営費			
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	14,583	16,822	17,309	17,281	17,281					
決算額(B)=(C)+(D)	14,573	16,821	17,287							
財源※	特定財源(C)	6,628	6,767	6,568	6,471					
	一般財源(D)	7,945	10,054	10,719	10,810					
概算人件費(E)	13,182	13,035	13,272	13,272	13,272					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.69	0.00	1.65	0.00	1.68	0.00	1.68	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	27,755	29,856	30,559	30,553	30,553					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	天文事業は進歩の早い科学分野で、適切かつ正確な内容を随時伝えていくのは困難を伴うが、職員の専門性を生かし学会や他団体との連携により情報収集や事業の研究を行い、より魅力的な事業の提供に努める。今後も学校団体の受入れは、天体や宇宙への興味関心を高める教育普及機能に必要であることから、協力連携を促進する。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23102001	事業名称	特別企画事業費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	科学館	問い合わせ先	262-8431	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	科学展示施設利用者、市内中・高校生	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	一つのテーマを掘り下げる特別展を開催することで、通常の展示とは別の視点から科学に親しむ機会を提供する。また、中学生から高校生を対象とした専門性の高い講演会を開催し、参加した生徒が課題意識を持ち、生涯にわたり学ぶ力を身に付ける場を提供する。	館独自の企画立案による手作りの特別展のほか、関連団体からの人材派遣や展示物の借用、テーマに精通した業者への委託等を活用し、特別展などを開催。		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	館独自の企画立案による、他館等と連携して展示物を借用し開催した特別展のほか、テーマに精通した業者への委託を活用し、大人から子どもまで幅広い世代の学びが深まる特別展を開催した。	項目	実績	単位
		特別展入場者数	21,976	人
		サイエンスまつり入場者数	9,984	人
事業の成果 【定性的評価】	テーマが異なる特別展ごとに、対象となる年齢層を定め、新たな利用者の獲得ができた。また、常設展示装置では学ぶことのできない、話題性や地域性のあるテーマを定めることで、利用者の満足度を向上させることができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	特別展等入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	特別展等を見学した人数 平成26年度の実績(平成30年度以降は平成29年度の実績)を参考に設定				
	単位	人	指標の種別	結果		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値				33,891	29,905	30,413	30,930	31,456	
	実績値・達成状況				29,405	未達成	28,322	未達成	31,960	達成
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	09目	002細目	04細々目	特別企画事業費			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	9,246	11,386		6,983		7,640		7,640		
決算額(B)=(C)+(D)	9,047	9,285		6,983						
財源※	特定財源(C)	0		0		500				
	一般財源(D)	9,047		9,285		6,983		7,140		
概算人件費(E)	7,878		7,426		7,110		6,794		6,794	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.01	0.00	0.94	0.00	0.90	0.00	0.86	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	16,925		16,711		14,093		14,434		14,434	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	利用者の関心が高いテーマの選択と、予算範囲内で充実した特別展等を開催するためには、十分な情報収集と準備・検討、さらに他館との連携が必要である。今後も館独自の企画立案による特別企画事業を行うためにも、他館の情報収集や職員の研修などを十分に行い、利用者のニーズに沿った、満足度の高い事業を展開していく必要がある。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23102101	事業名称	映像・情報メディアセンター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	中央図書館	問い合わせ先	258-1110(#69-2986)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 元 年度 ~ 令和 5 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立映像・情報メディアセンター設置及び管理条例 他

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	映像・情報メディアセンターを管理運営する指定管理者	全市民(施設利用者)		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	多様な住民ニーズに広く対応するため、指定管理者による柔軟かつ総合的な施設運営及びメディアコンテンツを通じた事業等を行い、住民サービスの向上を図ることを目的とする。	映像・情報メディアセンター各種施設の利用提供及び指定管理者が費用等を負担して自らが企画する自主事業を実施する。		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	施設の貸出しのほか、年度を通してメディアセンター内でワークショップ・イベント、企画展示を自主事業として実施した。	項目	実績	単位
		ワークショップ・イベント開催回数	594	回
		企画展示開催回数	262	回
事業の成果 【定性的評価】	ワークショップ・イベントに4,872人、企画展示に45,373人の参加があった。また、成果として、指定管理者の自由な発想の下、参加者に対して技術の習得や意識の啓発及びコミュニティ構築のきっかけづくりができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	来館者数			指標・目標値の説明(算定式)	指標:メディアセンターに来館した人数 目標値:過去の実績を参考に決定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況			120,000	120,000	120,000				
指標②	名称	貸出施設利用件数			指標・目標値の説明(算定式)	指標:プレゼンテーションスタジオ、コミュニケーションスタジオ、多目的スタジオ、ミーティングルームの利用件数 目標値:実績を参考に決定				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況			3,300	3,300	3,300				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	07目	001細目	01細々目	映像・情報メディアセンター指定管理者管理運営費			
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	—	—	48,849	49,297	49,297					
決算額(B)=(C)+(D)	—	—	48,848							
財源※	特定財源(C)	—	—	0	0					
	一般財源(D)	—	—	48,848	49,297					
概算人件費(E)	—	—	2,607	2,607	2,607					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.33	0.00	0.33	0.00	0.33	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	—	51,455	51,904	51,904					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	課題は各種施設の稼働率の向上及び、収益の増加を図ること。 改善方策として、川口駅前という好立地にあることを有効に活用し、施設認知度の向上を図り、魅力ある事業を実施する。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23200122	事業名称	オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致等事業	事業区分	主要な事業 政策宣言29
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援		
根拠法令等			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・事前キャンプ地視察団 ・市民	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地誘致等の活動を行うもの。	オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致国を受け入れるため関係機関と施設利用等について連絡調整を図るもの。 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたイベントの開催により、スポーツの普及促進並びに機運の醸成を図るもの。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致国を受け入れるため関係機関と施設利用等の連絡調整を行った。 オリンピック・パラリンピック機運醸成イベント開催(「競技種目体験イベント! In川口」)	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	キャンプ地誘致国を受け入れるため、施設利用等について関係機関と連絡調整を行った。また、オリンピック・パラリンピック機運醸成イベントを開催し、トップアスリートと直接触れ合える機会を通して機運醸成を図ることができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	機運醸成イベント			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	回	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況	2	達成	1	達成	1	達成			
指標②	名称	事前キャンプ地視察団			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	カ国	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況	3	達成	2	達成	—	—			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	09細々目	オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致等事業					
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度							
予算額(A)	1,087	993	1,000	—	—							
決算額(B)=(C)+(D)	860	846	920									
財源※	特定財源(C)	0	0	0	—							
	一般財源(D)	860	846	920	—							
概算人件費(E)	7,254	6,399	6,241	—	—							
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.93	0.00	0.81	0.00	0.79	0.00	—	—	—	—
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	8,114	7,245	7,161	—	—							

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	関係機関と連携し、事前キャンプ地視察の受け入れに繋げることができた。また、トップアスリートを招いた競技種目の実技体験イベントを開催し、競技を楽しみながら機運醸成を図ることができた。今後、事前キャンプ地誘致事業はオリンピック・パラリンピック担当、機運醸成事業は当課で新規事業として行う。	2年度 完了 3年度 — 4年度 —

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23200132	事業名称	オリンピック・パラリンピック普及啓発事業	事業区分	主要な事業 政策宣言29
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 令和 2 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	旧国立競技場の炬火台	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	旧国立競技場の炬火台が、平成31年10月から平成32年3月まで本市への貸与が決定されたため、川口駅東口公共広場(キュボ・ラ広場)へ展示するための台座設置工事を行い、炬火台を設置し、多くの市民に披露するもの。	炬火台台座設置工事 炬火台設置記念式典	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 炬火台台座設置工事 炬火台設置記念式典	主な実績	
		項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	炬火台を川口駅東口公共広場(キュボ・ラ広場)へ設置し、炬火台設置記念式典を行うことにより多くの市民に披露することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	002細目	06細々目	オリンピック・パラリンピック普及啓発事業	
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
予算額(A)	—	1,869		21,940		2,970		—
決算額(B)=(C)+(D)	—	1,868		19,954				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		
	一般財源(D)	1,868		19,954		2,970		
概算人件費(E)	—		1,027		1,501		237	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.13	0.00	0.19	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—		2,895		21,455		3,207	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	炬火台を設置し多くの市民に披露することにより、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、より一層の機運醸成を図っていく。	2年度 縮小して実施 3年度 完了 4年度 —

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23200152	事業名称	体育施設維持補修費	事業区分	主要な事業 政策宣言6
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	体育施設	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	施設管理運営に必要な施設の維持補修を行う。	安全・安心に施設利用ができるよう、維持補修を図る。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	老朽化した体育施設を維持するための修繕及び補修工事	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	老朽化した体育施設を維持するための修繕及び補修工事を行うことにより、利用者が安全・安心に施設利用することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	02細々目	体育施設維持補修費			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	63,807	76,171		47,124		46,124		46,124		
決算額(B)=(C)+(D)	61,754	72,171		78,854						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	61,754		72,171		78,854		46,124		
概算人件費(E)	1,794		1,580		2,212		2,765		2,765	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.23	0.00	0.20	0.00	0.28	0.00	0.35	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	63,548		73,751		81,066		48,889		48,889	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	経年劣化が進んでいる中、施設を維持するための修繕及び補修工事を行う必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、施設の維持補修を行っていく必要がある。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23200164	事業名称	体育施設整備費	事業区分	主要な事業 政策宣言6・その他
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	体育施設	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	施設管理運営に必要な施設整備を行う。	安全・安心に施設利用ができるよう、より一層の施設整備を図る。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 老朽化した体育施設の改修及び補修工事	主な実績	
		項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	老朽化した体育施設の施設整備を行うことにより、利用者が安全・安心に施設利用することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	03細々目	体育施設整備費	
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	352,907	359,613	476,108	329,907	113,181			
決算額(B)=(C)+(D)	206,662	334,874	365,662					
財源※	特定財源(C)	99,600	0	33,900	32,000			
	一般財源(D)	107,062	334,874	331,762	297,907			
概算人件費(E)	624	1,185	2,765	2,765	2,765			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.08	0.00	0.15	0.00	0.35	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	207,286	336,059	368,427	332,672	115,946			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	経年劣化が進んでいる中、施設の設備等の更新を計画的に進める必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、早期に施設整備を行う必要がある。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23200224	事業名称	芝スポーツセンター耐震改修事業	事業区分	主要な事業 政策宣言6・その他
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	芝スポーツセンター	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	耐震診断の結果、耐震値が基準を満たしていないことが判明した体育施設について、補強工事等により耐震化を図り、利用者及び地域住民の安全を確保する。	耐震補強及びトイレほか改修工事、野球場照明設備改修工事	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	芝スポーツセンタートイレほか改修工事 芝スポーツセンター野球場照明設備改修工事 芝スポーツセンター耐震補強等工事	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	耐震補強及びトイレほか改修工事、野球場照明設備改修工事が完了し、利用者が安全・安心に施設を利用することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	08細々目	芝スポーツセンター耐震改修事業
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
予算額(A)	14,850	—	878,338	—	—		
決算額(B)=(C)+(D)	13,738	—	749,773				
財源※	特定財源(C)	12,500	—	146,300	—		
	一般財源(D)	1,238	—	603,473	—		
概算人件費(E)	546	—	1,185	—	—		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.07	0.00	—	—	—
			—	—	0.15	0.00	—
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	14,284	—	750,958	—	—		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	令和元年度耐震補強及びトイレほか改修工事、野球場照明設備改修工事了。	2年度 完了 3年度 — 4年度 —

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23200244	事業名称	東スポーツセンター設備改修事業	事業区分	主要な事業 政策宣言6・その他
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	東スポーツセンター設備	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	施設開所から年数が経過し、設備の故障や老朽化も著しいため、利用者への安全性の確保及び利便性を向上させるもの。	老朽化により稼働停止や修繕を繰り返す不具合が生じているため設備改修を行うもの。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	東スポーツセンター非常用蓄電池設備改修工事 東スポーツセンターボイラー取替工事 東スポーツセンタープール電光表示盤改修工事 東スポーツセンター屋上防水工事	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	老朽化した体育施設の改修工事を行うことにより、利用者が安全・安心に施設利用することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値								
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	06細々目	東スポーツセンター設備改修事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	186,000	58,768		115,657		191,796	178,924			
決算額(B)=(C)+(D)	128,277	50,910		100,715						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	128,277	50,910		100,715		191,796	178,924		
概算人件費(E)	468	474		711		790	790			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.06	0.00	0.06	0.00	0.09	0.00	0.10	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	128,745	51,384		101,426		192,586	179,714			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	経年劣化が進んでいる中、設備等の更新を計画的に進める必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、早期に設備等の改修を行っていく必要がある。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23200264	事業名称	西スポーツセンター設備改修事業	事業区分	主要な事業 政策宣言6・その他
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	西スポーツセンター設備	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	施設開所から年数が経過し、設備の故障や老朽化も著しいため、利用者への安全性の確保及び利便性を向上させるもの。	老朽化により稼働停止や修繕を繰り返す不具合が生じているため設備改修を行うもの。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	西スポーツセンター中央監視装置等改修工事	項目	実績
	西スポーツセンター体育館床補修工事		
	西スポーツセンター監視カメラ修繕		
	西スポーツセンター監視モニター修繕		
事業の成果 【定性的評価】	老朽化した体育施設の改修工事を行うことにより、利用者が安全・安心に施設利用することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	07細々目	西スポーツセンター設備改修事業	
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
予算額(A)	157,955	66,704		50,397		-		-
決算額(B)=(C)+(D)	149,348	61,260		46,580		-		-
財源※	特定財源(C)	0		0		-		-
	一般財源(D)	149,348	61,260		46,580		-	
概算人件費(E)	468	474		790		-		-
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.06	0.00	0.06	0.00	0.10	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	149,816	61,734		47,370		-		-

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	経年劣化が進んでいる中、設備等の更新を計画的に進める必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、早期に設備等の改修を行っていく必要がある。	2年度	完了
		3年度	-
		4年度	-

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23200301	事業名称	流水プール施設運営費	事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 54 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市立グリーンセンター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	レクリエーション施設である流水プール場(冬期はアイススケート場)を提供し、心身の健康増進に寄与する。	流水プール場及びアイススケート場の開場期間中における安全・安心な施設運営を行なう。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	流水プール場及びアイススケート場の運営維持管理(委託)、機械設備等の点検・自主検査、開場に向けて施設の不具合箇所の修繕を実施した。令和元年度は、老朽化の目立っていた製氷機・整氷車を借上げ対応とし、開場期間中の故障等による休止を防ぐことができた。	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	安全・安心な施設運営ができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	流水プール場(夏季)とアイススケート場(冬季)の入場者数(過去10年間の平均入場者数)				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況	75,612	未達成	80,705	未達成	67,989	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	06目	003細目	01細々目	流水プール施設運営費					
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度				
予算額(A)	40,728	40,762		54,072		54,710		54,710				
決算額(B)=(C)+(D)	39,954	40,042		52,924								
財源※	特定財源(C)	21,230	17,708		15,786		20,222					
	一般財源(D)	18,724	22,334		37,138		34,488					
概算人件費(E)	7,488	7,584		7,584		7,584		7,584		7,584		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.96	0.00	0.96	0.00	0.96	0.00	0.96	0.00	0.96	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	47,442		47,626		60,508		62,294		62,294			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	9 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	不明			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
38 /60	施設・設備の老朽化が顕著であり、安全面を重視した総合的な点検・補修等が必要である。活性化基本計画の結果を受け、整備・改修時期を検討し、適正な更新・修繕を実施していく。	2年度	現状維持で実施
		3年度	効率化して実施
		4年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23200401	事業名称	スポーツ推進審議会事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市スポーツ推進審議会条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市スポーツ推進審議会委員	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	スポーツの推進に関する事項について調査審議する。	年2回程度会議を開催。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	第1回川口市スポーツ推進審議会(令和元年7月24日) 第2回川口市スポーツ推進審議会(令和2年2月13日)	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	スポーツの推進に関する事項について調査審議することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)		
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)		
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	002細目	01細々目	スポーツ推進審議会事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	208	208		208		179		179		
決算額(B)=(C)+(D)	186	172		150						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	186		172		150		179		
概算人件費(E)	1,950		1,975		1,975		1,185		1,185	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00	0.15	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,136		2,147		2,125		1,364		1,364	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	川口市のスポーツの推進及び振興のため調査・審議し、スポーツ行政に反映していく必要がある。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23200501	事業名称	中学校・高等学校運動指導者派遣事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	258-1110(18221)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 13 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市立中学校・高等学校運動部活動指導者派遣事業実施要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	中学校・高等学校の運動部	中学校・高等学校の運動部員	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	川口市立中学校・高等学校運動部活動の充実を図るために、教育に対する理解と専門的な技術指導力を備えた指導者を、地域住民の中から協力者として支援できるようにする。	指導者は、各学校の運動部活動における技術指導への協力と援助を行う。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	指導者は、各学校の運動部活動における技術指導への協力を行った。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	市内中学校・高等学校の運動部活動の充実・活性化が図られた。また、地域の指導者を活用することにより、運動部活動と地域社会との連携を促進し、指導者の資質向上を図ることができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	指導者派遣数			指標・目標値の説明(算定式)	中学校・高等学校に派遣した指導者数 中学校26人、高等学校3人、計29人				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績値・達成状況	27	未達成	27	未達成	26	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	002細目	02細々目	中学校・高等学校運動指導者派遣事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度				
予算額(A)	1,979	1,979		2,095	2,095	2,095				
決算額(B)=(C)+(D)	1,720	1,787		1,500						
財源※	特定財源(C)	447		447	178	0				
	一般財源(D)	1,273		1,340	1,322	2,095				
概算人件費(E)	1,170		1,185		632	632				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.15	0.00	0.15	0.00	0.08	0.00	0.08	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,890		2,972		2,132	2,727				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	運動部活動指導員との住み分けや人材の確保に課題があり、事業周知の際に活用方法などの具体例を示していく必要がある。 技術指導に対して専門知識を持たない教員にとっては負担軽減の一助となるため、今後活用要望が高まる可能性があり、人材の確保が必要。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23200701	事業名称	体育関係表彰事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市体育表彰要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	スポーツ活動において功労のあった者及び活躍した選手	受賞者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	長年にわたりスポーツ活動において功労のあった者及び年間を通じて活躍した選手または団体に対し、市または教育委員会が表彰する。	・川口市体育三賞授与式・会場借上げ・看板製作委託	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・川口市体育三賞授与式(令和2年1月24日:川口リリア音楽ホール)	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	国際大会、国内大会において素晴らしい成績を残すアスリートが多数いた。優秀な成績を残したアスリートを市民に広く紹介することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	002細目	04細々目	体育関係表彰事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	693	807		432		552		552		
決算額(B)=(C)+(D)	679	742		413						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	679		413		552				
概算人件費(E)	5,850	5,925		2,765		2,765		2,765		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.75	0.00	0.75	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	6,529	6,667		3,178		3,317		3,317		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 /60	受賞資格者の収集において、市民への周知方法を検討する。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23200801	事業名称	ツデーマーチ実行委員会交付金	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 19 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	ツデーマーチ実行委員会交付金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	ツデーマーチ実行委員会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	体力低下が社会問題となっていることから、交付することで、事業の推進を図る。	大会を企画運営し、市内及び市外からのウォーカーへのウォーキングの場を提供する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	令和元年9月21日、22日に第12回川口ツデーマーチを実施した。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	1日目1,422人、2日目1,329人、2日間計2,751人の参加者のもと、開催した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	002細目	05細々目	ツデーマーチ実行委員会交付金			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	1,700	2,700		1,700		1,978		1,978		
決算額(B)=(C)+(D)	1,700	2,700		1,700						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	1,700		2,700		1,700		1,978		
概算人件費(E)	3,120		3,160		4,345		4,345		4,345	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.40	0.00	0.55	0.00	0.55	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,820		5,860		6,045		6,323		6,323	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	市内の参加者が減少していることから、市民に対する広報活動を充実させる必要がある。参加者のニーズにあったコースの設定など、参加者にとって魅力的な大会にしていく必要がある。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23200901	事業名称	学校体育協会事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	スポーツ基本法/学校体育奨励交付金要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市学校体育協会	市立小・中・高等学校の児童、生徒	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市立小・中・高等学校教育の一環として、児童・生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、体力・技能の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身とも健康な児童・生徒を育成するとともに、生涯スポーツの基礎づくりに寄与する。	・小、中、高校水泳記録会 ・中学校通信陸上競技大会 ・小・中学校体育授業研究協議会 ・学校総合体育大会 ・市民体育祭(中学校の部) ・中学校交歓大会 ・小学校地区陸上大会 ・体育実技伝達講習会	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・小、中、高校水泳記録会 ・中学校通信陸上競技大会 ・小・中学校体育授業研究協議会 ・学校総合体育大会 ・市民体育祭(中学校の部) ・中学校交歓大会 ・小学校地区陸上大会 ・体育実技伝達講習会	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	各種大会・記録会を開催することにより、他校の選手と競い合うことで競技力の向上が図られた。指導者の資質・向上を図ることで、児童・生徒のスポーツに親しむ資質・能力の育成が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	01細々目	学校体育協会事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	3,295	3,360		3,360		3,445		3,445		
決算額(B)=(C)+(D)	2,949	3,047		3,079						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	2,949		3,047		3,079		3,445		
概算人件費(E)	5,382		5,451		4,740		5,293		5,293	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.69	0.00	0.69	0.00	0.60	0.00	0.67	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	8,331		8,498		7,819		8,738		8,738	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	熱中症対策をはじめとする、児童・生徒の体調を考慮した大会運営。働き方改革を踏まえた大会運営の改善。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23201001	事業名称	スポーツ協会事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	スポーツ協会事業交付金要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	(公財)川口市スポーツ協会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	スポーツの功績を表彰し榮譽を讃え、活力と向上精神を刺激し、スポーツの普及発展につなげ、また、川口市のスポーツ情勢を幅広く市民に周知し情報を提供することにより市民のスポーツ参加を促し、スポーツの意識向上を図ることが目的である。	スポーツ教室及び各種スポーツ事業等の実施や、スポーツに関する講演会の実施などで人材育成を行い、スポーツ功労者及び優秀選手の表彰などでより一層の活気を見だし更には、広報誌の発刊及びその他の広報活動でスポーツの普及を行っている事業の一部を助成する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	スポーツ教室及び各種スポーツ事業等の実施や、スポーツに関する講演会の実施などで人材育成を行い、スポーツ功労者及び優秀選手の表彰などでより一層の活気を見だし更には、広報誌の発刊及びその他の広報活動でスポーツの普及を行っている事業の一部を助成した。	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	スポーツ競技力の向上やスポーツへの取組み意欲の向上が市民の活気ある生活への後押しとなり、更にスポーツ表彰により、一層のスポーツに対する活力と向上精神を刺激するものであり、スポーツの普及発展につながった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値								
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	02細々目	スポーツ協会事業					
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	53,844	58,293		60,044		61,222	61,222					
決算額(B)=(C)+(D)	53,843	58,292		60,044								
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0					
	一般財源(D)	53,843	58,292		60,044		61,222	61,222				
概算人件費(E)	1,950	1,975		1,975		2,370	2,370					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	55,793	60,267		62,019		63,592	63,592					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どりの	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	市民スポーツの普及促進について、スポーツ教室、表彰等は大変重要であり、継続的に行う必要がある。今後においても、スポーツ教室、表彰体系、広報の方法等について更に検討をするもの。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23201101	事業名称	スポーツ推進委員協議会事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	スポーツ基本法第32条2項(スポーツ振興法改正 平成23年8月24日施行) / スポーツ推進委員協議会事業交付金要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市スポーツ推進委員協議会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	ニュースポーツを広めるなど、スポーツ全般的な推進につながるよう交付を行っているもの。	スポーツ推進委員協議会の事業費(講習会・研修会・印刷・調査研究・大会・表彰・負担金・保険等)に対し助成を行うもの。	
元年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	スポーツ推進委員協議会の事業費(講習会・研修会・印刷・調査研究・大会・表彰・負担金・保険等)に対し助成を行った。	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	市民の求めに応じてスポーツの実技や指導を行い、積極的に地域の大会やイベントにも関わることにより、市民スポーツの推進に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	常任理事会開催回数			指標・目標値の説明(算定式)	年間の事業に関する話し合いや、活動の報告を通じて、協議会の事業を向上させるための会議である。他の事業の兼ね合いから、年間5回の開催が妥当である。				
	単位	回(数)	指標の種別	活動		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	5		5	5	5	5			
	実績値・達成状況	5	達成	5	達成	4	未達成			
指標②	名称	スポーツ推進委員数			指標・目標値の説明(算定式)	近年の委嘱者数と予算の兼ね合いから、定数314人とし、目標値としている。				
	単位	人(数)	指標の種別	結果		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	314		314	314	314				
	実績値・達成状況	296	未達成	298	未達成	295	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	03細々目	スポーツ推進委員協議会事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	13,068	13,016		13,945		12,855		12,855		
決算額(B)=(C)+(D)	12,457	12,460		12,789						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	12,457		12,460		12,789		12,855		
概算人件費(E)	5,616		5,609		5,530		5,135		5,135	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.72	0.00	0.71	0.00	0.70	0.00	0.65	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	18,073		18,069		18,319		17,990		17,990	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	スポーツ推進委員の活動については、各地域により特色が強く出ているため、統一的な活動状況の確保は困難である。今後は、スポーツ推進委員の質を高めつつ、様々なニーズに対応しながら事業を継続的に進めていく必要がある。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23201201	事業名称	レクリエーション協会事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	レクリエーション協会事業交付金要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市レクリエーション協会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	レクリエーション協会として事業を行うことにより、市民の健康増進と体力向上に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> 少年少女グラウンド・ゴルフ体験講習会 市民体育祭(地区・ブロック・中央・一般・小中学校) 市民レクリエーション祭 各種大会沿道警備 	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	<ul style="list-style-type: none"> 少年少女グラウンド・ゴルフ体験講習会 市民体育祭(地区・ブロック・中央・一般・小中学校) 埼玉県レクリエーション大会inかわぐち 各種大会沿道警備 	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	広く市民にスポーツレクリエーションを奨励し、健康増進を図ると共に市民相互のふれあいの場を提供することにより地域交流が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	04細々目	レクリエーション協会事業					
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度							
予算額(A)	3,878	3,845	4,878	3,878	3,878							
決算額(B)=(C)+(D)	3,878	3,845	4,878									
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0							
	一般財源(D)	3,878	3,845	4,878	3,878							
概算人件費(E)	3,666	3,634	4,740	4,898	4,898							
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.47	0.00	0.46	0.00	0.60	0.00	0.62	0.00	0.62	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	7,544	7,479	9,618	8,776	8,776							

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性						
50 /60	市民ニーズがますます増大することが考えられることから、調査研究が必要である。	<table border="1"> <tr> <td>2年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> </table>	2年度	現状維持で実施	3年度	現状維持で実施	4年度	現状維持で実施
2年度	現状維持で実施							
3年度	現状維持で実施							
4年度	現状維持で実施							

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23201301	事業名称	スポーツ少年団事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	スポーツ少年団事業交付金要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市スポーツ少年団	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	発育発達途上にある青少年を対象に、心と身体の健全育成とスポーツ活動を通じて立派な社会人に育てることを目的とした事業であるため、支援が必要である。	大会・・・スーパードッジボール大会、駅伝大会 講習会・・・救命講習会 派遣費・・・各種大会派遣費、現地研修会費等 会議費・・・総会、本部員会議、指導者協議会 事務費・・・通信費、需用費	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	講習会・・・救命講習会 派遣費・・・各種大会派遣費、現地研修会費等 会議費・・・総会、本部員会、指導者協議会 事務費・・・通信費、需用費	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	悪天候により各種大会が中止となってしまったが、救命講習会や各種会議を通して指導者・保護者の指導の資質向上が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別							
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別							
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	05細々目	スポーツ少年団事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度				
予算額(A)	1,200	1,200		1,200	1,200	1,200				
決算額(B)=(C)+(D)	1,200	1,200		1,200						
財源※	特定財源(C)	0		0	0	0				
	一般財源(D)	1,200	1,200		1,200	1,200	1,200			
概算人件費(E)	3,198	3,081		5,135	5,135	5,135				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.41	0.00	0.39	0.00	0.65	0.00	0.65	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,398	4,281		6,335	6,335	6,335				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	低かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
46 /60	スポーツ少年団の活動は競技スポーツばかりでなく、発育発達段階を考慮したスポーツ活動のほか、学習活動・レクリエーション活動・社会活動・文化活動など、幅広く捉えているということに関係者によく理解してもらう。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23201401	事業名称	スポーツ推進補助事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	社会体育奨励交付金交付要綱/県代表選手派遣交付金交付基準

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・公民館地区レクリエーション協会(33団体)市在住在勤の方 ・派遣選手(団体または個人) ・スポーツやレクリエーション活動中に傷害を受けた市内に住所を有する方及び在勤・在学の方	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民のスポーツ活動、生涯スポーツ活動、競技スポーツ活動の普及を図り、活動する市民へ負担を軽減するため支援するもの。	・各公民館地区におけるスポーツ事業実施のための交付金 ・全国大会等に出場する選手に対しての派遣交付金 ・各種スポーツにおいて怪我をした場合の傷害見舞金の交付	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・各公民館地区におけるスポーツ事業実施のための交付金 ・全国大会等に出場する選手に対しての派遣交付金 ・各種スポーツにおいて怪我をした場合の傷害見舞金の交付	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	地域の大会等でスポーツを通じた地域コミュニティの活性化が図られた。県を代表して出場する選手の経費負担が図られた。スポーツレクリエーション等に安心して参加してもらうことができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	01目	003細目	06細々目	スポーツ推進補助事業					
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	15,927	15,927		15,927		15,927	15,927					
決算額(B)=(C)+(D)	15,606	15,408		15,754								
財源※	特定財源(C)	0	0		0		0	0				
	一般財源(D)	15,606	15,408		15,754		15,927	15,927				
概算人件費(E)	1,404	1,422		1,580		1,185	1,185					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.18	0.00	0.18	0.00	0.20	0.00	0.15	0.00	0.15	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	17,010	16,830		17,334		17,112	17,112					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 /60	全国大会等に出場する選手が増えているため予算の増額の検討が必要である。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23201501	事業名称	青木町公園総合運動場・体育武道センター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先 048-259-7657	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市体育施設設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	青木町公園総合運動場・体育武道センターを運営する事業者	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	専門性の高い競技施設として機能し、県・関東・全国規模の大会会場として使用しており、各競技団体等との連携を図りながら円滑な施設運営を行い、市民の健康体力づくりにおけるスポーツの推進を行うもの。	専門性の高い施設として効率的に運営を行うことができる指定管理者による管理・運営で、競技力の向上や一般市民へのスポーツ活動の場を提供し普及を行うもの。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	指定管理者制度を活用し、(公財)川口市スポーツ協会に施設全般の管理運営業務等を委託した。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	川口市のスポーツ拠点施設としての運営ができることや、専門的分野の技術力向上及び市民へのスポーツの推進に貢献した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	施設利用者数			指標・目標値の説明(算定式)	第5次川口市総合計画基本計画におけるスポーツ施設全体の目標値を達成するために必要な前年度実績の1.91%増とした。				
	単位	人	指標の種別	結果		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況	436,951		440,483		480,190				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	04細々目	青木町公園総合運動場・体育武道センター指定管理者管理運営費			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	154,948	155,408		156,839		159,699		160,715		
決算額(B)=(C)+(D)	154,947	155,408		156,839						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	154,947		155,408		156,839		159,699		
概算人件費(E)	1,794		1,817		1,896		2,054		2,054	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.23	0.00	0.23	0.00	0.24	0.00	0.26	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	156,741		157,225		158,735		161,753		162,769	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	青木町公園総合運動場は、公園内の施設であり、公園所管課との管理区分に不明確な部分が存在する。公園所管課と管理区分について整理していく。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23201601	事業名称	戸塚スポーツセンター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～	年度	
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援				
根拠法令等	川口市体育施設設置及び管理条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	戸塚スポーツセンターを運営する事業者	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	民間ノウハウを活用し、質の高いサービスを提供をすともコスト削減を図り、市民の健康体力づくりにおけるスポーツの推進を行うもの。	専門性の高い施設として効率的に運営を行うことができる指定管理者による管理・運営で、競技力の向上や一般市民へのスポーツ活動の場を提供し普及を行うもの。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	指定管理者制度を活用し、コナミスポーツ・日環サービスグループに施設全般の管理運営業務等を委託した。	項目	実績
		単位	
事業の成果 【定性的評価】	川口市のスポーツ拠点施設として運営ができることや、専門的分野の技術力向上及び市民へのスポーツの推進に貢献した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	施設利用者数			指標・目標値の説明(算定式)	第5次川口市総合計画基本計画におけるスポーツ施設全体の目標値を達成するために必要な前年度実績の1.91%増とした。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
		491,338	510,241	514,957						
	実績値・達成状況	500,679	達成	505,306	未達成	462,146	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	001細目	05細々目	戸塚スポーツセンター指定管理者管理運営費					
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度							
予算額(A)	134,986	135,669	137,150	139,574	140,406							
決算額(B)=(C)+(D)	134,986	135,669	137,150									
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0							
	一般財源(D)	134,986	135,669	137,150	139,574							
概算人件費(E)		1,794	1,817	1,896	2,054	2,054						
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.23	0.00	0.23	0.00	0.24	0.00	0.26	0.00	0.26	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	136,780	137,486	139,046	141,628	142,460							

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	開所から10年以上が経過し、設備や備品の故障が相次いでいる。施設管理者と情報共有を密にし、計画的に改修、更新を行なっていく。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23201901	事業名称	スポーツ教室開催事業費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	スポーツ課	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市スポーツ教室等開催要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	スポーツ教室受講者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	教室を開催することで、初心者の方や向上心のある方が気軽にスポーツに参加でき、更にはスポーツの楽しさを知ってもらうことや、心身の成長に貢献することが目的である。	ピラティス教室・ヨガ教室・水泳教室・熟年者健康運動教室等を各スポーツセンターにおいて開催するもの。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	ピラティス教室・ヨガ教室・水泳教室・熟年者健康運動教室等を各スポーツセンターにおいて開催した。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	教室においては、主に30歳代から70歳代まで幅広い年齢層で開催することができ、スポーツの楽しさや、世代間交流及び健康増進への意欲向上につなげることができ、川口市のスポーツ振興に貢献することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	教室開催回数			指標・目標値の説明(算定式)	施設を活かしたスポーツ教室を開催するものであり、予算の編成時にその情勢を鑑みて設定しているものである。(実績回数/開催回数(目標回数))				
	単位	教室	指標の種別	活動		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	12		11	12					
	実績値・達成状況	10	未達成	10	未達成	12	達成			
指標②	名称	教室参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	スポーツ教室の「実績回数/開催回数(目標回数)」				
	単位	人(数)	指標の種別	結果		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	1,935		1,840	2,140					
	実績値・達成状況	1,296	未達成	1,320	未達成	1,325	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	08項	02目	002細目	01細々目	スポーツ教室開催事業費			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	924	1,007		1,209		1,303		1,303		
決算額(B)=(C)+(D)	903	924		1,068						
財源※	特定財源(C)	903	924		1,068		1,303			
	一般財源(D)	0	0		0		0			
概算人件費(E)	546	553		553		711		711		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.07	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00	0.09	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,449	1,477		1,621		2,014		2,014		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	各スポーツ施設の状況により事業内容や実施件数が異なることから、今後も施設の特性を活かしながら開催について検討してもらいたい。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23300102	事業名称	文化芸術鑑賞事業	事業区分	主要な事業 政策宣言14
担当	教育総務部	文化推進室	問い合わせ先	258-1110(#76-2113)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民及び交流市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	幅広い分野の文化・芸術に関する事業の開催を通して市民が多彩なジャンルの文化・芸術を鑑賞する機会を提供することにより、市民の文化力向上に寄与する。	市内在住の文化・芸術活動を行っている個人・団体等を講師とし、夏休みの小・中・高校生の生徒を対象とした文化・芸術活動(特に伝統文化・伝統芸能)の体験ワークショップを行い、発表の場を提供する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・令和元年9月8日(日)に「子ども和太鼓教室」を開催。小学生から高校生が対象。 ・会場は鳩ヶ谷駅市民センターを使用。 ・初午太鼓保存会の協力のもと、「初午太鼓」を体験。	項目	実績
		「子ども和太鼓教室」開催回数	1 回
事業の成果 【定性的評価】	当日は3つのグループに別れて練習し、最後にグループ毎に発表を行った。参加者アンケートの満足度も高く、普段触れる機会のない、川口の郷土文化である初午太鼓の体験を通し、文化力向上に寄与したと考える。		
	「子ども和太鼓教室」参加人数	29	人

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	発表会への観覧者数			指標・目標値の説明(算定式)	120人(前年度開催1日間観覧者数)×1.1(前年比10%増)					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	実績値・達成状況	42 未達成		120 達成		87 未達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別									
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	002細目	02細々目	文化芸術鑑賞事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	440	438		320		332		332		
決算額(B)=(C)+(D)	193	245		290						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	193		245		290		332		
概算人件費(E)	1,326		1,185		2,291		1,659		1,659	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.17	0.00	0.15	0.00	0.29	0.00	0.21	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,519		1,430		2,581		1,991		1,991	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	「子ども和太鼓教室」は非常に人気が高く、募集初日の正午までに定員に達したことから、今後、定員や募集方法を検討していく。また、引き続き文化芸術団体、個人の指導者に働きかけ、広い分野において協力者を得ることにより事業の継続的实施を図る。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23300202	事業名称	アートギャラリー企画関係費	事業区分	主要な事業 政策宣言14
担当	教育総務部	文化推進室	問い合わせ先	253-0222	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	川口市立アートギャラリー設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営										
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)											
	市民	同左											
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)											
	市民の美術に対する意識の高揚を図るとともに、企画展を通じてアートへの関心を高め、美術の鑑賞・創作活動の場を提供し、もって芸術文化の発展に寄与することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・展覧会、講演会、講習会、ワークショップに伴う企画・運営・広報 ・展覧会実施に伴う展示制作 ・展覧会会場の管理・運営 											
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績											
	<ul style="list-style-type: none"> ・自主企画展覧会を5事業、134日実施した。 ・ワークショップを7事業、7日実施した。 ・実技講座・鑑賞講座・アートさんぽを3事業、3日実施した。 ・企画展関連イベントを13事業、18日実施した。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>春の企画展<絵画展・・・なか?></td> <td>1,575</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>第14回アーティスト・イン・スクール</td> <td>4,727</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>アートな年賀状展2020</td> <td>2,286</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績	単位	春の企画展<絵画展・・・なか?>	1,575	人	第14回アーティスト・イン・スクール	4,727	人	アートな年賀状展2020	2,286
項目	実績	単位											
春の企画展<絵画展・・・なか?>	1,575	人											
第14回アーティスト・イン・スクール	4,727	人											
アートな年賀状展2020	2,286	人											
事業の成果 【定性的評価】	さまざまな内容の企画・展示を行うことにより、市民のアートに対する興味を喚起することができた。												

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	自主企画事業の入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	入場者数の前年比0.5%増を目指す。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況	9,472	未達成	9,406	未達成	11,829	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	11目	001細目	02細々目	アートギャラリー企画関係費			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	18,454	17,398		14,723		10,415		16,798		
決算額(B)=(C)+(D)	14,810	15,647		13,181						
財源※	特定財源(C)	0		314		298		284		
	一般財源(D)	14,810		15,333		12,883		10,131		
概算人件費(E)	12,480		12,640		12,640		12,640		12,640	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.60	0.00	1.60	0.00	1.60	0.00	1.60	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	27,290		28,287		25,821		23,055		29,438	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性						
54 /60	観覧料の有無や講座等の内容・実施時期によっては入場(参加)者の少ないことがあったが、密着しに視覚に訴える作品の展示では効果的に館内へ誘導することができた。今後においても、企画内容の充実は元より、より有効な広報手段を研究し、市内外を問わず幅広く来場者に情報を発信できるよう改善を目指す。	<table border="1"> <tr> <td>2年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> </table>	2年度	現状維持で実施	3年度	現状維持で実施	4年度	現状維持で実施
2年度	現状維持で実施							
3年度	現状維持で実施							
4年度	現状維持で実施							

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23300301	事業名称	総合文化センター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	市民生活部	自治振興課	問い合わせ先	258-1110(#33-5311)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	総合文化センター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公益財団法人川口総合文化センター	施設利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	川口総合文化センターの施設管理及び運営	<ul style="list-style-type: none"> 川口総合文化センターの施設管理 地域に対する文化芸術の振興 	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 指定管理者制度のもと、公益財団法人川口総合文化センターに管理運営を委託した	主な実績	
		項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	事故等の問題なく運営ができた		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	02款	01項	22目	001細目	01細々目	総合文化センター指定管理者管理運営費					
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	484,370	503,500		502,612		507,224	507,224					
決算額(B)=(C)+(D)	476,370	503,500		502,612								
財源※	特定財源(C)	64,555	64,555		65,226		66,211					
	一般財源(D)	411,815	438,945		437,386		441,013					
概算人件費(E)	1,170	1,343		1,343		1,817	1,817					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.15	0.00	0.17	0.00	0.17	0.00	0.23	0.00	0.23	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	477,540	504,843		503,955		509,041	509,041					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	なし	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23300502	事業名称	市民コンサート事業	事業区分	主要な事業 政策宣言14
担当	教育総務部	文化推進室	問い合わせ先	258-1110(#76-2112)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 10 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民及び交流市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	広く市民が多様な音楽に触れ、音楽を楽しむ機会を設けることにより、本市の音楽文化のさらなる発展・向上に繋げることを目的とする。	市の施設を活用し、多様なジャンルの音楽を鑑賞する機会を提供するとともに、アーティスト登録制度に登録する若手アーティストの活動の場を提供する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	令和元年10月6日(日)「コカリナの調べ」	項目	実績 単位
		市民コンサート回数	1 回
事業の成果 【定性的評価】	「コカリナの調べ」入場者数150人、「炬火台設置記念式典」と同日同会場(川口駅東口公共広場)で開催した。市内で活動する音楽家に活躍の場を提供するとともに、市民が気軽に音楽に触れる機会となった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	市民コンサートへの入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	402人(前年度1回あたり平均入場者数)×1回(実施回数)×1.1(前年比10%増)			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
	実績値・達成状況	390	599	442	165				
	実績値・達成状況	816 達成	804 達成	150 未達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	002細目	01細々目	市民コンサート事業			
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	936	986	1,281	1,036	1,036					
決算額(B)=(C)+(D)	798	503	1,266							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	798	503	1,266	1,036					
概算人件費(E)	2,106	1,659	2,528	2,291	2,291					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.27	0.00	0.21	0.00	0.32	0.00	0.29	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,904	2,162	3,794	3,327	3,327					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	炬火台の式典と同日同会場にて開催。市民が気軽に観覧し、音楽を楽しむ機会を提供するとともに、音楽を通じてオリンピック・パラリンピックの機運醸成の一助となった。今後の課題として、他のイベントとの合同開催における効果的な実施方法や広報を検討する必要がある。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23300601	事業名称	芸術賞賞賜事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	文化推進室	問い合わせ先	258-1110(#76-2112)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 62 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画、各種表彰規程

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	文化芸術に携わる市民全般	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	長年にわたり本市の文化・芸術振興に貢献した方の功労を顕彰し、将来を嘱望される方の奨励を行うことにより、市民文化の向上・発展に寄与するものである。	市民文化の向上・発展に貢献された方を対象とする「川口市文化賞」「芸術功労賞」「芸術奨励賞」、青少年を対象とした「青少年文化活動奨励賞」の表彰を行うもので、被表彰者を公募、選考会議における候補者の選考を経て市長が決定し表彰を行う。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・11月2日川口駅前市民ホールフレンディアにて文化三賞表彰式を実施。「川口市文化賞」「芸術功労賞」「芸術奨励賞」「青少年文化活動奨励賞」を授与。 ・文化賞受賞者、市川嘉泉氏による書道作品展を実施。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	・受賞者の文化芸術に関する功績や活動の業績を、広く市民あてに顕彰することにより、本市の文化力の向上を喚起する推進力へと繋がった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	表彰式入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	前年の入場者数(286人)×1.1(前年比10%増)				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況	232		153		315		220		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	002細目	03細々目	芸術賞賞賜事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	920	1,035		1,234		1,172		1,172		
決算額(B)=(C)+(D)	714	740		923						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	714		740		923		1,172		
概算人件費(E)	1,716		1,580		2,844		2,291		2,291	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.22	0.00	0.20	0.00	0.36	0.00	0.29	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,430		2,320		3,767		3,463		3,463	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	会場内で文化賞受賞者作品展を開催したことで、一般来場者の興味を引いたと思われることから、今後も、来場者増につながる企画を検討する。また、表彰により個人や団体の活動が広がり、盛んになると考えることから、積極的に受賞候補者を推薦してもらうよう関係団体等へさらに働きかけていく。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23300702	事業名称	文化振興交付事業	事業区分	主要な事業 政策宣言14
担当	教育総務部	文化推進室	問い合わせ先	258-1110(#76-2113)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 52 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市文化振興基金条例、各種交付要綱、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	文化芸術活動を行う個人や団体	文化芸術を享受する市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の自主的な文化事業や創造的な文化芸術活動を積極的に支援することにより、文化芸術の振興を図り、市民の誰もが「ゆとりと潤い」を実感できる心豊かな市民生活の実現に役立つ。	市内の文化芸術活動を行う個人や団体を補助金の交付によって支援することにより、活動の継続・発展、ひいては市の文化力向上に寄与する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・市内で文化活動を行う個人・団体を対象に助成事業の公募を行い、選考を経て、9団体に助成金を交付。 ・初午太鼓コンクール、文化祭実行委員会、青少年ピアノコンクール実行委員会、美術展実行委員会へ交付金を交付。	項目	実績
		文化振興助成金の交付件数	9 件
		実行委員会への交付金交付件数	4 件
事業の成果 【定性的評価】	文化振興助成事業助成金交付団体数9団体、交付金交付事業団体数4団体。市民の自主的な文化事業や創造的な芸術活動を財政的に支援することにより、活動の継承に寄与し市民の文化芸術に参加、鑑賞する機会を提供した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	文化振興助成金の交付要望件数			指標・目標値の説明(算定式)	11(前年交付要望件数)+1件					
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	実績値・達成状況	11 達成		11 未達成		9 未達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位			指標の種別							
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	002細目	04細々目	文化振興交付事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	15,475	13,555		12,747		12,744		13,344		
決算額(B)=(C)+(D)	14,828	13,240		12,136						
財源※	特定財源(C)	1,797	1,824		1,647		2,248			
	一般財源(D)	13,031	11,416		10,489		10,496			
概算人件費(E)	8,502	6,636		10,349		9,796		9,796		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.09	0.00	0.84	0.00	1.31	0.00	1.24	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	23,330		19,876		22,485		22,540		23,140	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	川口市文化振興助成事業や、その他助成制度(国、県、財団等)について関係文化団体や個人へ広く周知することに注力し、財政面において支援していくことにより、その文化活動の継続と活性化の一助となることを目指す。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23300712	事業名称	歴史自然資料館活用事業	事業区分	主要な事業 政策宣言36
担当	教育総務部	文化推進室	問い合わせ先	258-1110(#76-2113)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営						
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市民(観光客含む)	受益者(最終的に受益を受ける人)	同左						
事業の概要	事業の目的(何のために) 歴史自然資料館において、幅広い分野の文化・芸術に関する事業を開催し、市民(観光客含む)が文化芸術を体験する機会を提供する。	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか) 歴史自然資料館において、市内の文化芸術団体と連携し、赤山の歴史、文化を活かした多彩なジャンルの文化芸術を体験する市民参加型ワークショップを実施する。							
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・10月5-20日展示「創造の場」、10月19日WS「スタンドグラスのオーナメントを作ろう」開催。 ・10月26-27日展示「-身近に在る美しさ-草月流いけばな 堂前桃扇展」、WS「いけばなワークショップ」開催。	主な実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ワークショップ開催回数</td> <td>2</td> <td>回</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績	単位	ワークショップ開催回数	2	回
項目	実績	単位							
ワークショップ開催回数	2	回							
事業の成果 【定性的評価】	「創造の場」では、「若手芸術家派遣事業」の小学生作品や、福祉施設の子供達の作品展示により、同世代の子供達や関係者の関心を集めた。「堂前桃扇展」では、赤山・安行の草花を取り入れた華道家の展示により地域資源の発信に繋がった。								

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	ワークショップの来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	ワークショップ参加者定員の100%				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況		77 未達成	35 達成						
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	002細目	06細々目	歴史自然資料館活用事業					
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度							
予算額(A)	—	159	1,084	1,125	1,125							
決算額(B)=(C)+(D)	—	159	1,067									
財源※	特定財源(C)	—	0	0	0							
	一般財源(D)	—	159	1,067	1,125							
概算人件費(E)	—	1,975	2,449	1,659	1,659							
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.25	0.00	0.31	0.00	0.21	0.00	0.21	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	2,134	3,516	2,784	2,784							

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どりの	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性						
50 /60	今後も教育・福祉等幅広い分野における事業、地域資源を活用した事業を継続的に実施することにより、市民(観光客含む)が多彩なジャンルの文化芸術及び地域独自の文化芸術を体験できる機会を創出していく。	<table border="1"> <tr> <td>2年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> </table>	2年度	現状維持で実施	3年度	現状維持で実施	4年度	現状維持で実施
2年度	現状維持で実施							
3年度	現状維持で実施							
4年度	現状維持で実施							

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23300901	事業名称	文化団体補助事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	文化推進室	問い合わせ先	258-1110(#76-2113)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	50	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援				
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市文化団体連合会補助金交付要綱、川口市民音楽協会補助金交付要綱、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市文化団体連合会、川口市民音楽協会	文化団体の活動を体験する、鑑賞する市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市内における文化芸術活動を担う団体への支援を行うことを通し、各種文化活動の促進、市民文化の高揚を図る。	川口市文化団体連合会が行う文化活動の啓発等に関わる事業費や市民音楽協会加盟団体への活動支援のため、補助金を交付する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	川口市文化団体連合会、川口市民音楽協会への補助金の交付	項目	実績
			単位
事業の成果 【定性的評価】	・補助金交付2団体 ・市民の自主的な文化芸術活動の振興と事業に携わる、人材の育成及び交流を図ることが出来た。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	文化団体連合会加盟団体数			指標・目標値の 説明(算定式)	前年度の団体数の維持。				
	単位	団体	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況	117		122		121		117		
	122		達成		121		未達成		117	
指標②	名称	川口市民音楽協会加盟団体数			指標・目標値の 説明(算定式)	前年度の団体数の維持。				
	単位	団体	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況	62		62		62		79		
	63		達成		62		達成		79	

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	003細目	01細々目	文化団体補助事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	1,650	1,650		2,356		2,300		2,300		
決算額(B)=(C)+(D)	1,650	1,650		1,984						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	1,650	1,650		1,984		2,300			
概算人件費(E)	1,014	948		1,817		1,422		1,422		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.13	0.00	0.12	0.00	0.23	0.00	0.18	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,664		2,598		3,801		3,722		3,722	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	団体活動を担う若い世代の獲得が課題となっているが、令和元年度は、川口市文化団体連合会がホームページを作成中であり、広く活動が周知されることにより、新たな文化団体の加入も期待できる。今後も引き続き、団体に対して情報提供や支援を行い、市内の文化芸術を担う団体の活動促進を図る。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23301001	事業名称	アートギャラリー事業運営費	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	文化推進室	問い合わせ先	253-0222	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	川口市立アートギャラリー設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民及び文化共催展などの関係団体(市内学校、川口市美術家協会など)	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	文化共催展などの関係団体等に美術の鑑賞・創作活動の場を提供することで、市民の美術に対する意識の高揚を図るとともに、もって芸術文化の発展に寄与することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・美術非常勤特別職に対する報酬の支払い ・展覧会、講演会、講座、ワークショップ等の開催に伴う調査・研究 ・共催展に関する展示、印刷物の配布 ・美術及び館運営等に関する情報収集 		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の館運営の参考となりそうな展覧会等の調査・研究、並びに美術・館運営に関する情報収集のため職員を派遣した。 ・各種共催展の展示やそれに関する印刷物の配布を行った。 ・16団体、115日の貸館利用があった。 	項目	実績	単位
		川口市美術家協会選抜展	1,063	人
		川口市小・中・高校硬筆展覧会	8,285	人
		川口市小・中・高校書きぞめ展覧会	4,120	人
事業の成果【定性的評価】	さまざまな内容の企画・展示を行うことにより、市民のアートに対する興味を喚起することができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	共催・連携事業の入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	入場者数の前年比0.5%増を目指す。				
	単位	人	指標の種別	結果		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値					17,160	17,389	17,017	19,467	
	実績値・達成状況					17,302 達成	16,932 未達成	19,371 達成		
指標②	名称	貸館利用の入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	貸館利用者数の前年比0.5%増を目指す。				
	単位	人	指標の種別	結果		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値					7,039	8,325	8,670	8,137	
	実績値・達成状況					8,284 達成	8,627 達成	8,097 未達成		

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	11目	001細目	01細々目	アートギャラリー事業運営費			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	15,255	16,583		16,305		12,285		12,285		
決算額(B)=(C)+(D)	13,501	15,502		15,760						
財源※	特定財源(C)	2,969	1,910		1,901		1,757			
	一般財源(D)	10,532	13,592		13,859		10,528			
概算人件費(E)	14,040	14,220		14,220		14,220		14,220		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	27,541		29,722		29,980		26,505		26,505	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	広報かわぐちや隔月刊発行ニュース等で広報を行っているが、貸しギャラリーの内容によって入場者が少ないことがある。共催・連携事業においては、学校や隣接商業施設と連携を図りつつ、積極的に活用しながら広報を強化し、市内外問わず幅広い情報発信ができるよう更なる改善を目指す。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23301101	事業名称	若手芸術家派遣事業	事業区分	通常事業
担当	教育総務部	文化推進室	問い合わせ先	258-1110(#76-2113)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 元 年度 ~ 令和 元 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	一般社団法人アブリュス	創作活動の場を希望するアーティスト及び児童	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	若手芸術家支援事業として、幅広い分野の文化・芸術に関するワークショップを若手芸術家を実施してもらうことで、本市の文化芸術の振興を図り、市民の文化力の向上・発展に資することを目的とする。	若手芸術家支援として学校連携事業を行い、若手のアーティストを派遣し体験授業をする。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	クラス全員で1枚の布(約2.8m×3m)に、自由に描画するワークショップ「クラスで描こう！わたしたちの無限大な世界」を行った。 ・9月、幸町小学校5年生3クラスと教員を対象に実施。 ・10月、仲町小学校6年生2クラスと教員を対象に実施。	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	一人一人がその子らしく描画することで自信を持ち、またクラスメイトとの表現の違いを評価なく認め合い、個性の尊重を経験できたとともに、美術の専門家による特別授業を受けるという児童たちにとって貴重な体験となった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	002細目	05細々目	若手芸術家派遣事業	
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	—	—	370	—	—			
決算額(B)=(C)+(D)	—	—	327	—	—			
財源※	特定財源(C)	—	—	0	—			
	一般財源(D)	—	—	327	—			
概算人件費(E)	—	—	1,738	—	—			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.22	0.00	—	—
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	—	2,065	—	—			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	小学校に芸術家を派遣するワークショップは、今年度が4回目となる。普段接することのない芸術家から授業を受けるという特別な体験を通じ、子供達の文化力の向上に寄与するという目的を達し、また、アートギャラリー・アトリアにおいて類似した事業があることから、今年度をもって本事業を完了とする。	2年度 完了 3年度 — 4年度 —

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	23301202	事業名称	美術館建設等検討事業	事業区分	主要な事業 政策宣言22
担当	教育総務部	文化推進室	問い合わせ先	258-1110(#76-2113)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち” - 3 市民が自己実現をめざせる環境づくり - ③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画、川口市美術館建設基本構想・基本計画審議会条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	美術館	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の文化芸術の振興の推進を図り、心豊かな活力ある市民生活の実現に寄与することを目的として、美術館建設に向けた検討を行う。 ※H30「美術館建設基本構想策定事業」より事業名変更	<ul style="list-style-type: none"> 川口市美術館建設基本構想・基本計画審議会による基本計画策定に向けた審議。 基本計画策定支援業務委託の実施。 	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	<ul style="list-style-type: none"> 審議会開催(6回) 美術館建設基本計画(素案)の作成及び答申 	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	<ul style="list-style-type: none"> 美術館建設基本構想(素案)の答申、基本構想(案)の作成、パブリックコメント(7月)の実施 審議会による美術館建設基本計画策定に向けた審議 		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	10目	002細目	07細々目	美術館建設等検討事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	—	10,508		11,972		14,606		12,342		
決算額(B)=(C)+(D)	—	9,851		9,268						
財源※	特定財源(C)	—		3		0				
	一般財源(D)	—		9,851		9,265		14,606		
概算人件費(E)	—		2,844		3,555		2,844		2,844	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.36	0.00	0.45	0.00	0.36	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—		12,695		12,823		17,450		15,186	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	令和2年度は基本計画策定支援業務委託の実施、パブリックコメントの実施、基本計画の策定等を予定している。市民からの意見を反映し、基本設計、事業スケジュールの作成等、美術館建設に向けたより具体的な検討を行っていく。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施